

ミニバーガー「売れる」／高橋純平投手を大使に

飛騨牛ブランド売り込め



飛騨牛ブランドの発展に向けたアイデアを発表する学生＝岐阜市柳戸、岐阜大

岐阜大生が戦略提案

飛騨牛ブランドの発展に向けた方策を考える授業「飛騨牛倶楽部」の成果報告会が17日夜、岐阜市柳戸の岐阜大で開かれた。学生が、飛騨牛をPRする観光大使として県出身の俳優やアスリートを起用するなどのアイデアや、認知度向上のため飛騨牛バーガーをつくり味やコストを検討した実践を発表した。（小森直人）

授業は、調査や提案を通じて地域貢献しながら主体的に学ぶ力を身に付けようと、飛騨牛銘柄推進協議会の事

務局を担うJ A全農岐阜の協力で実施し、2年目。応用生物科学部の1、2年生20人が受講し、秋の宿泊実習では飛騨牛農家を訪れて牧場を見学、飛騨牛を味わい、生産者と交流した。生産や流通の立場、消費者の目線で方策をまとめた。学生6グループが発表し、J A全農岐阜の桑田博之県本部長ら約50人が聞いた。2年福田万里子さん(20)は、SNSや口コミによる波及効果が高いとして若い女性をターゲットに、ランチ向けのミニハンバーガーをアボカドワサビしようにゆ、デミグラスソースなど5種類の味で試作し、食べた友人の感想を紹介。一つ約450円の材料費で作れたとし、「原価率を考

慮しても販売は可能」と結論付けた。他グループは飛騨牛の観光大使を県出身の俳優綾野剛さんや伊藤英明さん、ソフトバンクに入団する県岐阜商業高の高橋純平投手に担ってもらったアイデアを披露した。